

危険物取扱者 [乙種・性消(第6類危険物)・正誤(3)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第6類の危険物には、分子中に酸素を含まないものがある。【 】
- (2) 第6類の危険物はいずれも液体の有機化合物である。【 】
- (3) 過塩素酸が流出した際は、エタノールで希釈してから、水で洗い流す。【 】
- (4) 第6類の危険物の消火には炭素水素塩類の粉末消火剤が適している。【 】
- (5) 過酸化水素は有毒であり、消毒殺菌剤として用いられることがある。【 】
- (6) 過酸化水素の濃度の高いものは、皮膚、粘膜をおかす。【 】
- (7) 過酸化水素の水溶液は塩基性を示す。【 】
- (8) 過酸化水素は銅の容器への収納は避ける。【 】
- (9) 硝酸は水と任意の割合で混合する。【 】
- (10) 硝酸は不安定であり、爆発性が高い。【 】
- (11) 硝酸は赤紫色の液体である。【 】
- (12) 硝酸は還元性物質との接触を避けて貯蔵する。【 】
- (13) 発煙硝酸は濃硝酸に二酸化窒素を加圧飽和させて作られる。【 】
- (14) 三フッ化臭素は液温が上昇すると可燃性蒸気が発生する。【 】
- (15) 五フッ化臭素は炭素、硫黄、ヨウ素などと激しく反応する。【 】

危険物取扱者 [乙種・性消(第6類危険物)・正誤(3)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第6類の危険物には、分子中に酸素を含まないものがある。【○】
ハロゲン間化合物は酸素を含まない。
- (2) 第6類の危険物はいずれも液体の有機化合物である。【×】
液体の無機化合物である。
- (3) 過塩素酸が流出した際は、エタノールで希釈してから、水で洗い流す。【×】
過塩素酸はアルコールと爆発的に反応する。
- (4) 第6類の危険物の消火には炭素水素塩類の粉末消火剤が適している。【×】
第6類の危険物の消火には炭素水素塩類の粉末消火剤は適していない。
- (5) 過酸化水素は有毒であり、消毒殺菌剤として用いられることがある。【○】
消毒殺菌剤として用いられることがある。
- (6) 過酸化水素の濃度の高いものは、皮膚、粘膜をおかす。【○】
皮膚、粘膜をおかす。
- (7) 過酸化水素の水溶液は塩基性を示す。【×】
水溶液は弱酸性を示す。
- (8) 過酸化水素は銅の容器への収納は避ける。【○】
塩化ビニールやステンレス製容器を用いる。
- (9) 硝酸は水と任意の割合で混合する。【○】
水と任意の割合で混合する。
- (10) 硝酸は不安定であり、爆発性が高い。【×】
不安定だが爆発性はない。
- (11) 硝酸は赤紫色の液体である。【×】
無色の液体である。
- (12) 硝酸は還元性物質との接触を避けて貯蔵する。【○】
還元性物質との接触は避ける。
- (13) 発煙硝酸は濃硝酸に二酸化窒素を加圧飽和させて作られる。【○】
濃硝酸に二酸化窒素を加圧飽和させて作られる。
- (14) 三フッ化臭素は液温が上昇すると可燃性蒸気が発生する。【×】
液温が上昇しても可燃性蒸気は発生しない。
- (15) 五フッ化臭素は炭素、硫黄、ヨウ素などと激しく反応する。【○】
炭素、硫黄、ヨウ素などと激しく反応する。